



# 子どもの習いごと事情 -学校外活動費について-

子どもに関する費用については総務省、文部科学省をはじめ様々な調査が行われていますが、ここでは学校外活動費を中心にみていきたいと思います。

学校外活動費は大きく【補助学習費】と【その他の学校外活動費】に分かれます。

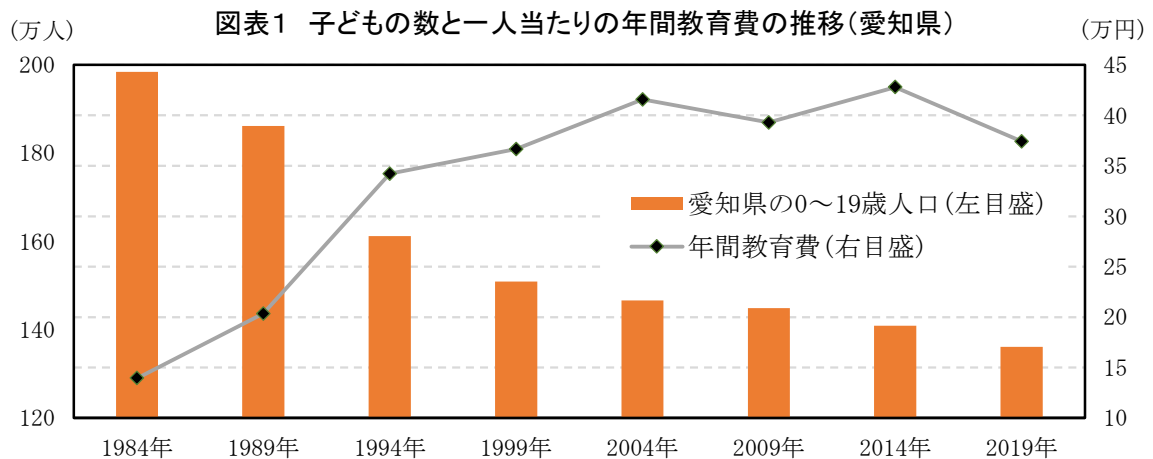
○補助学習費……家庭内学習費、通信教育・家庭教師費、学習塾費等  

○その他の学校外活動費……体験活動・地域活動、芸術文化活動、スポーツ・レクリエーション活動等の経費  

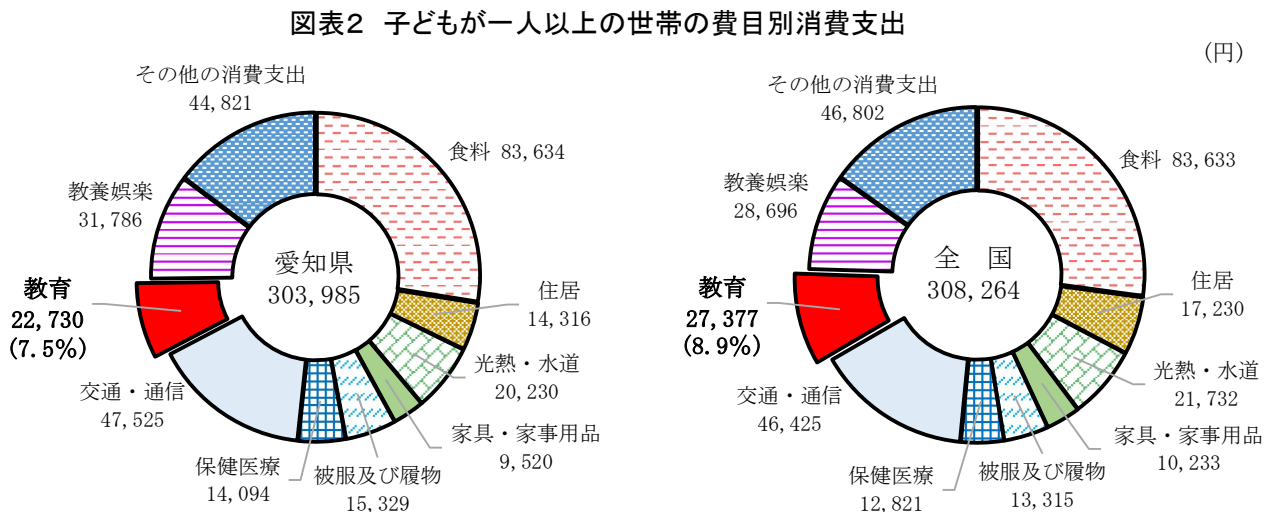
## 1 愛知県と全国の教育費の支出状況について

まず、愛知県の0～19歳人口と年間教育費の推移についてみてみます。2019年の年間教育費は1984年の年間教育費の約2.7倍となっており、子どもの減少と相反する一人当たりの教育費の増加がみてとれます。(図表1)

次に、未婚の子どもが一人以上の世帯の1か月の消費支出について、愛知県と全国の教育費の状況をみると、愛知県では22,730円、全国では27,377円となっており、どちらも全体の費目の中で5番目に多く、消費支出における教育支出の割合については、愛知県で7.5%、全国で8.9%となっています。(図表2)



(注) 1. 子どもの数は0～19歳の人数  
 2. 子ども一人当たりの教育費は、一世帯(二人以上)当たりの教育費×全世界帯数/子どもの数  
 資料：総務省「全国家計構造調査」「人口推計」「住民基本台帳」

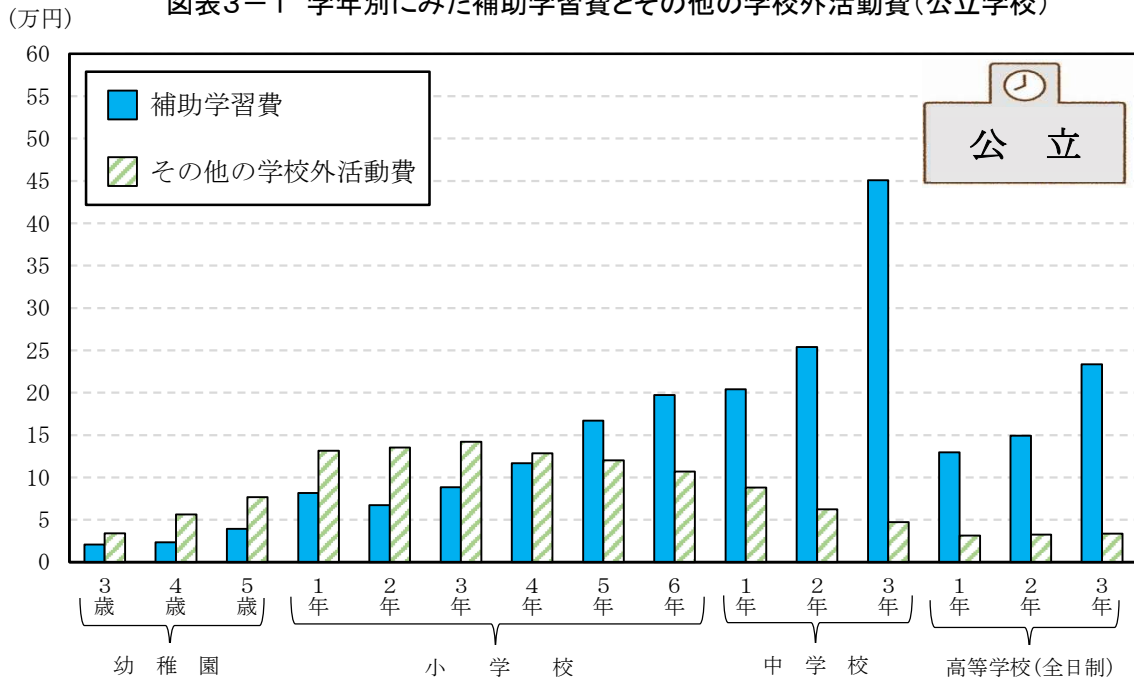


資料：総務省「2019年 全国家計構造調査」

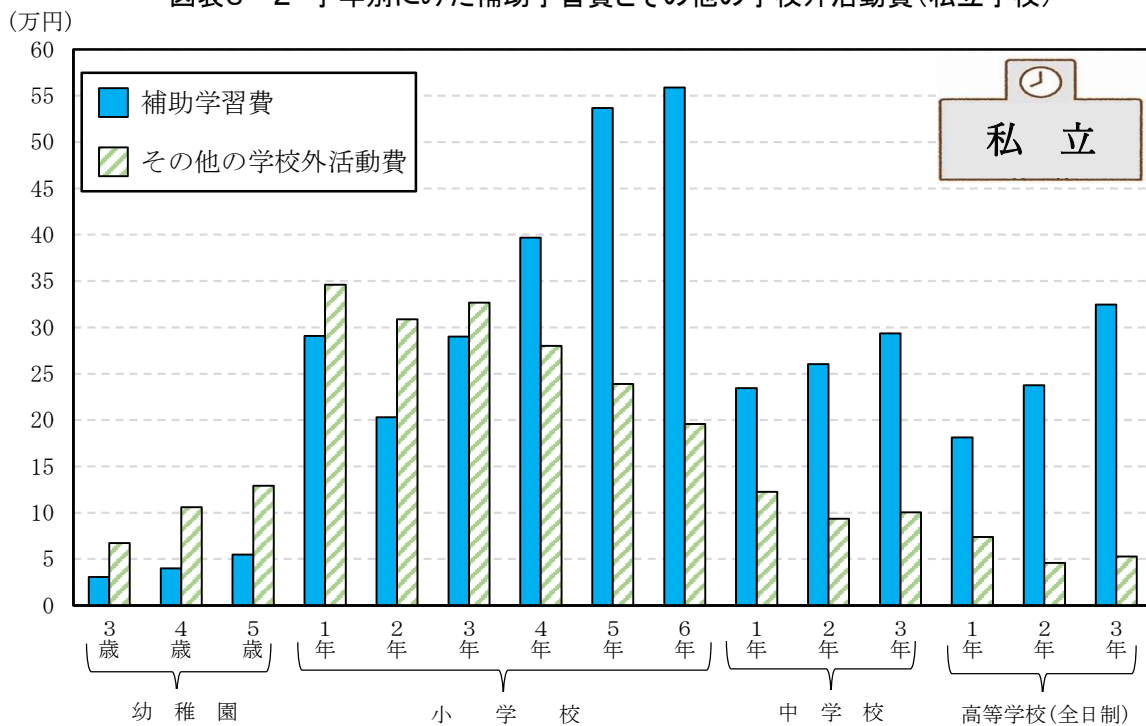
## 2 全国の学校外活動費等について

年間の「補助学習費」と「その他の学校外活動費」を学年別にみると、学校外活動費に占める「補助学習費」と「その他の学校外活動費」の割合は、公立は小学5年生以降、私立は小学4年生以降において、「補助学習費」が「その他の学校外活動費」を上回るようになっていきます。また、「補助学習費」は公立では中学3年生、私立では小学6年生が最大になっています。(図表3-1、3-2)

図表3-1 学年別にみた補助学習費とその他の学校外活動費(公立学校)



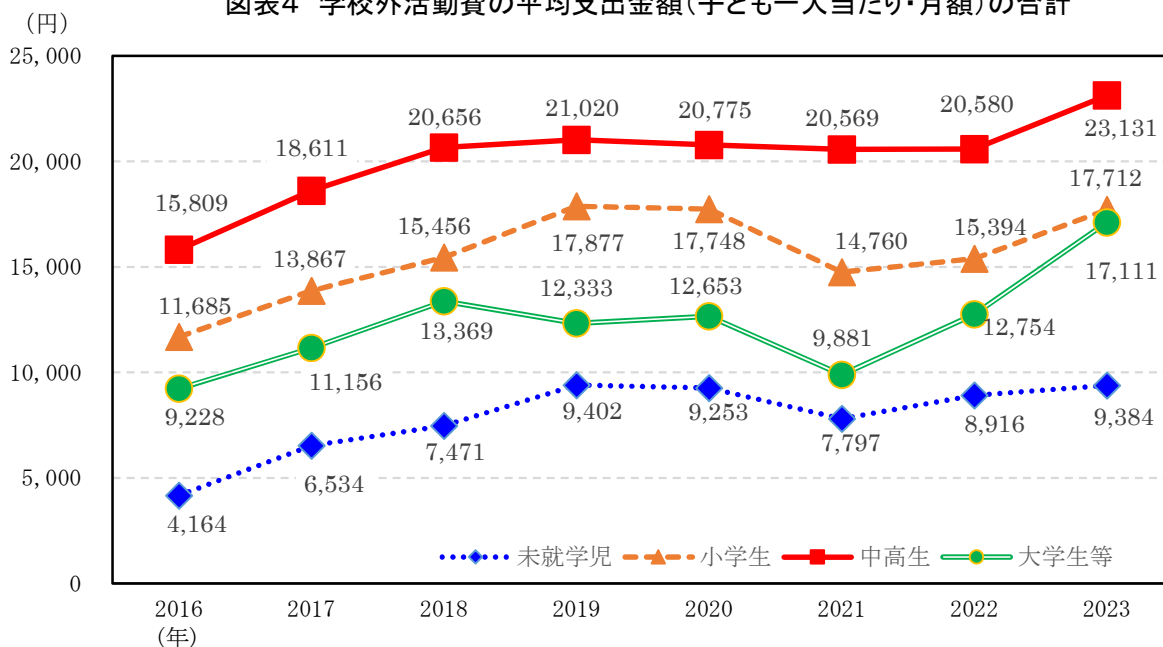
図表3-2 学年別にみた補助学習費とその他の学校外活動費(私立学校)



資料：文部科学省「令和3年度 子供の学習費調査」

子どもの学校外活動費の推移を就学段階別にみると、2016年から2023年にかけていずれの層でも増加がみられ、最も増加率の高い大学生等では85.4%増加しており、金額では7,883円の増加となりました。(図表4)

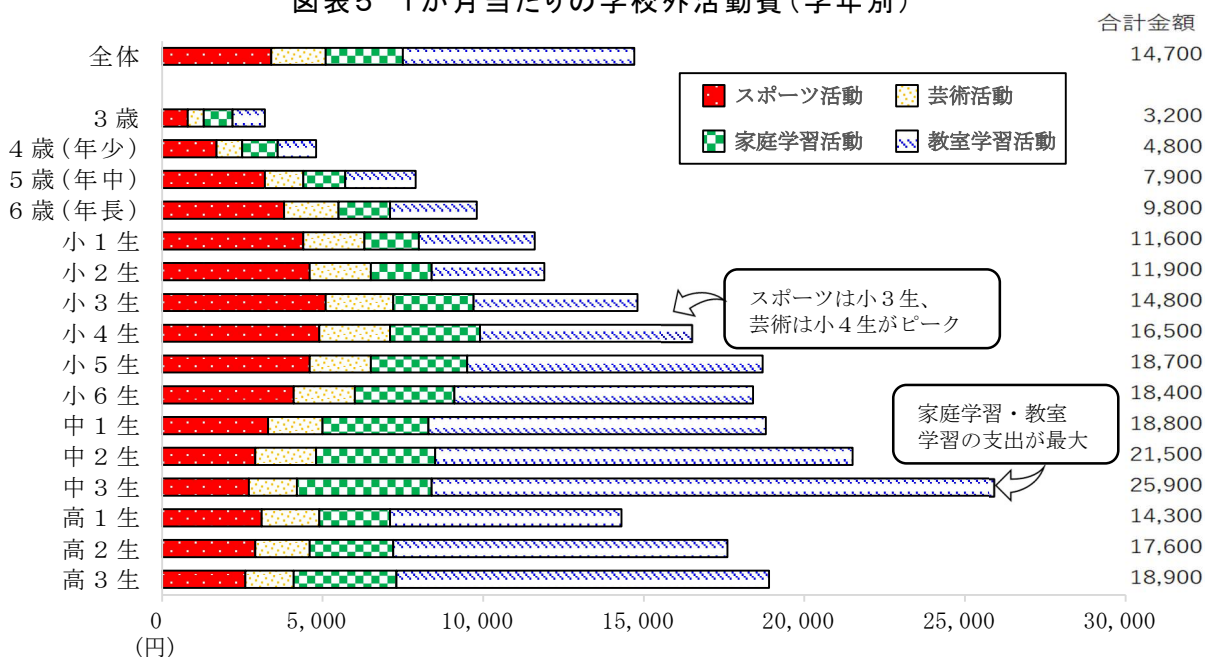
図表4 学校外活動費の平均支出金額(子ども一人当たり・月額)の合計



資料：ソニー生命調べ「子どもの教育資金に関する調査2023」

1か月当たりの学校外活動費を学年別にみると、教室学習(定期的に通う塾や教室)、スポーツ、家庭学習、芸術の順に支出の平均金額が大きくなっています。学校段階別では中学生の支出が大きく、中学3年生がピークとなり、家庭学習、教室学習の支出が最大です。また、スポーツは小学3年生、芸術は小学4年生がピークとなっています。(図表5)

図表5 1か月当たりの学校外活動費(学年別)



資料：ベネッセ教育総合研究所「学校外教育活動に関する調査2017」

教室学習活動を性別、学校段階別で見ると、小学生は「英会話・英語教室」「習字／硬筆」「プリント教材教室」などが上位で、中学生・高校生になると、「進学塾」「補習塾」などの比率が高まります。（図表6）

図表6 教室学習活動

(%)

		全 体	性 別		学校段階別			
			男 子	女 子	幼 児	小学生	中学生	高校生
1	受験勉強をするための塾（進学塾）	12.6	① 13.2	① 12.0	0.2	7.3	① 31.7	① 20.8
2	英会話・英語教室	10.8	② 10.1	② 11.6	① 10.5	① 15.0	③ 9.2	4.6
3	習字／硬筆	6.3	4.3	③ 8.2	1.7	② 11.6	5.1	2.8
4	学校の補習をするための塾（補習塾）	5.5	③ 6.1	4.9	0.2	5.3	② 13.4	③ 5.1
5	計算や漢字などのプリント教材教室	4.6	4.7	4.5	② 2.9	③ 8.3	3.0	1.1
6	そろばん	3.8	3.3	4.2	0.9	7.8	2.1	1.1
7	学校が行う補習教室（放課後や土日など）	2.9	3.0	2.8	0.9	2.8	2.5	② 6.2
8	算数・数学教室	1.6	1.7	1.6	0.6	2.4	2.0	1.1
9	能力開発のための幼児教室	0.8	0.9	0.8	③ 2.2	0.5	0.2	0.2
10	国語・作文教室	0.8	0.9	0.8	0.7	1.2	0.6	0.2

(注) 1. 複数回答。表では全体の上位10位までを示した。

2. 丸数字は順位を示す。表中で同率のものは、少数第二位以下により順位をつけている

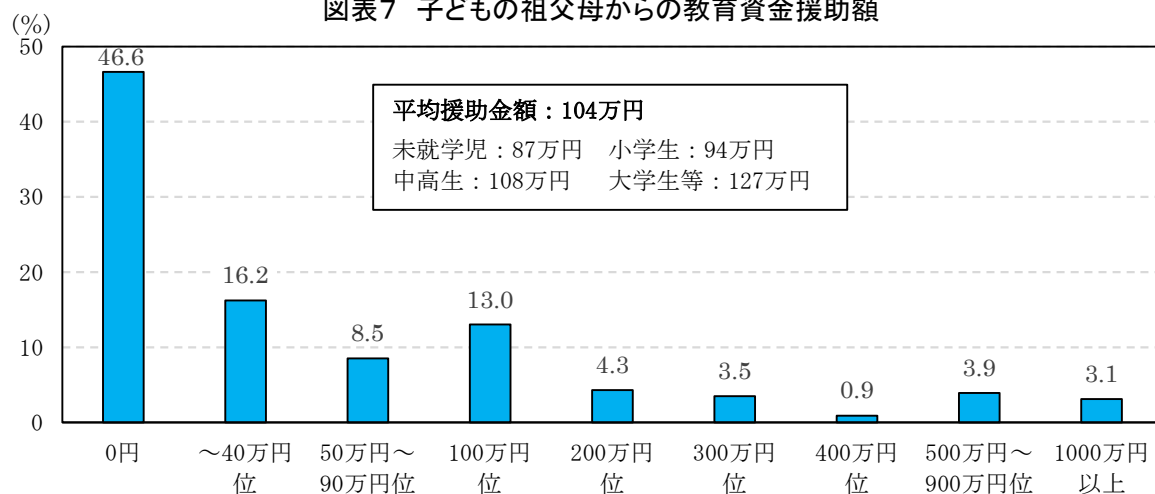
資料：ベネッセ教育総合研究所「学校外教育活動に関する調査2017」

### 3 その他の費用について

#### (1) 祖父母からの援助

子どもの教育資金として子どもの祖父母からこれまでにいくらか資金援助してもらっているかをみると、「0円」が半数近くで、次いで「～40万円位」「100万円位」でした。平均は104万円で、子どもの就学段階別にみると、資金援助してもらっている金額の平均は、未就学児が87万円、小学生が94万円、中学生・高校生が108万円、大学生等が127万円でした。（図表7）

図表7 子どもの祖父母からの教育資金援助額

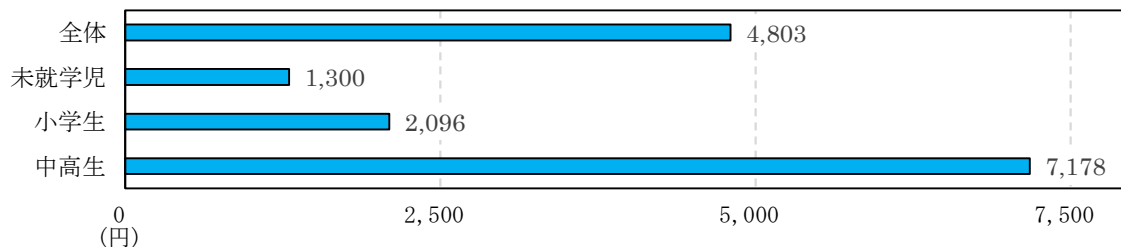


資料：ソニー生命調べ「子どもの教育資金に関する調査2023」

## (2) おこづかい

子どものおこづかいに支出している平均支出金額は、未就学児では1,300円、小学生では2,096円、中学生・高校生では7,178円となりました。(図表8)

図表8 子どものこづかいに支出している金額(子ども一人あたり・月額平均)

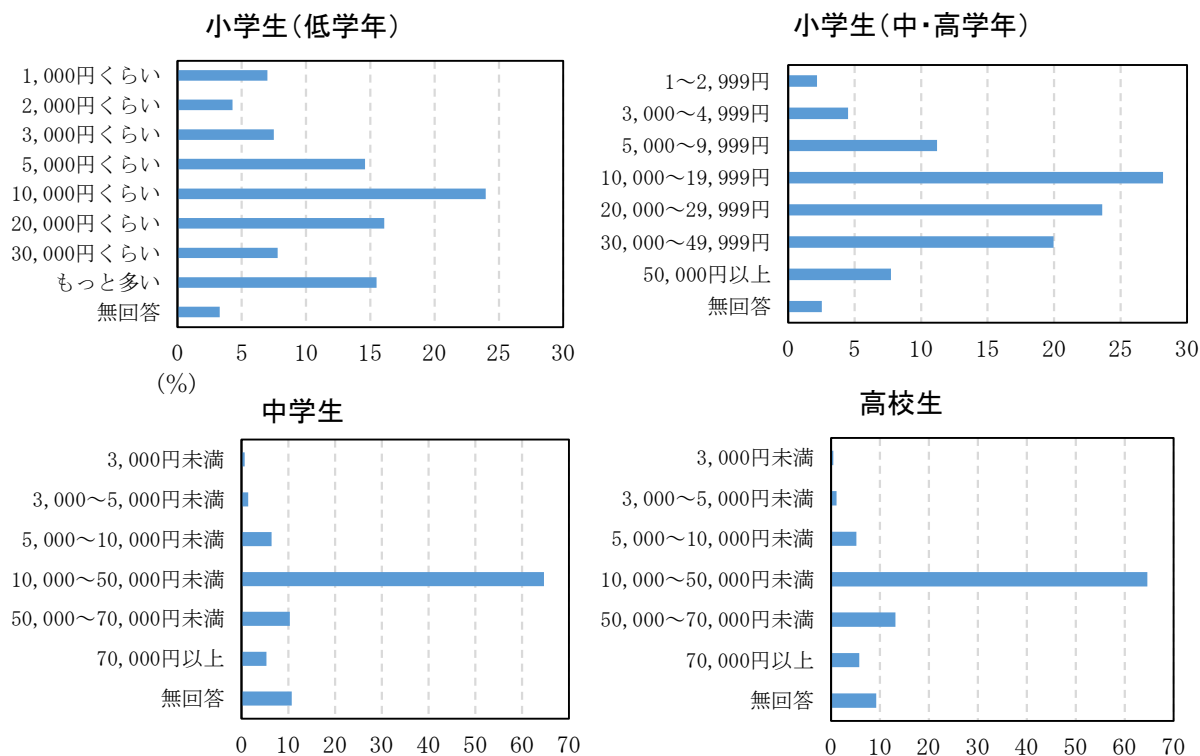


資料：ソニー生命調べ「子どもの教育資金に関する調査2023」

## (3) お年玉

お年玉の総額をみると、小学生では、低学年は「10,000円くらい」が最も多く(2割強)、中学年・高学年は「10,000～19,999円」が最も多く(3割弱)なっています。なお、これらの額を上回る額をもらっているとの回答も多くあります。中学生・高校生では、「10,000～50,000円未満」が最も多く、それぞれ6割強となっています。(図表9)

図表9 お年玉の総額



資料：金融広報中央委員会「子どものくらしとお金に関する調査」2015年度調査

## ○ おわりに

一人当たりの年間教育費について35年間の推移をみると、子どもの減少と相反し増加する傾向がみられました。また、学校外活動費の内訳をみると、小学校低学年まではスポーツや芸術活動の支出が多く、小学校中学年から家庭学習や教室学習活動の支出が多くなっていき、高校受験を控えた中学3年生に最大になるといった状況がうかがえました。